じりつへのたび

わたしはいつもははとあねにまもられてきました。ごねんまえに。「ひとりでとうきょうにいってきなさい」とははにいわれるまでは。そのとき、わたしはこわかったです。でもすこしわくわくしていました。とうきょうにいくことはわたしのゆめだったからです！

とうきょうのりょうについたとき、ひとりぼっちで、とってもこわかったです。ははもいない。あねもいない。そとにもでたくありませんでした。

にほんごがっこうにかよいはじめてからすこししてやるきがなくなってしまいました。このままひとりでいたくない。いえがこいしい。かぞくがいなくてさびしい。ははにそのことをメールすると、「なやんでいるよりいまをたのしみなさい」といわれました。

それでいままでのみかたをかえてみようとおもいました。ともだちをつくって、あきはばらやとうきょうディズニーシーなどのおおくのばしょにいっしょにいきました。おかげですばらしいおもいでがたくさんできました。そのときからずっとひとりたびをたのしんでいます。だいすきなしゅみのひとつになっています。

ははへかんしゃのきもちをつたえて、このスピーチをおわりたいとおもいます。ははのおかげで、こんなにたくさんのひとのまえではなすゆうきをもつことができました。そしてなにより、**じぶんじしんをしんじることができる**ようになりました。

ありがとうございました。